

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

柿原工業株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町99-13

(3) 業種

3113 自動車部分品附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの9年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	5999	5057 15.7%	4337 27.7%	4427 26.2%			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	新型コロナウイルス感染拡大や半導体不足による自動車業界の減産により、 温室効果ガス排出量は目標以上の削減率となった。						

※ 削減率(c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位(a)	目標年度 上段：原単位(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電力起源温室効果ガス排出量の削減	電力起源 温室効果ガス H25 R4 4280t-CO ₂ →2696t-CO ₂ (基準年度比) 37.01%削減	高効率照明への更新 めっきラインの運用改善 めっきラインの設備更新 冷暖房温度の適正管理 休憩時間の消灯の徹底 めっき銅ブスパー接触抵抗管理 冷却ポンプインバータ制御 給排気装置休日風量適正化
2	燃料起源温室効果ガス排出量の削減	燃料起源 温室効果ガス H25 R4 1719t-CO ₂ →1731t-CO ₂ (基準年度比) 0.70%増加	めっきラインの運用改善 めっきラインの設備更新 蒸気配管保温の適正管理 スチームトラップ点検管理 ボイラー空気比の管理
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組 (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
	太陽光発電	年間60t程度の排出削減	第二工場の屋根上に太陽光発電設備稼働中 (126.72kW) 令和4年度133,384kWh発電 鉄粉付着で発電量低下していた為、令和3年11月鉄粉用特殊洗浄実施。 自家消費 (余剰売電) の太陽光発電設備稼働中 (89.6kW) 令和4年度自家消費63,237kWh 余剰売電9,532kWh 計206,153kWh、113t-CO ₂ 削減

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。